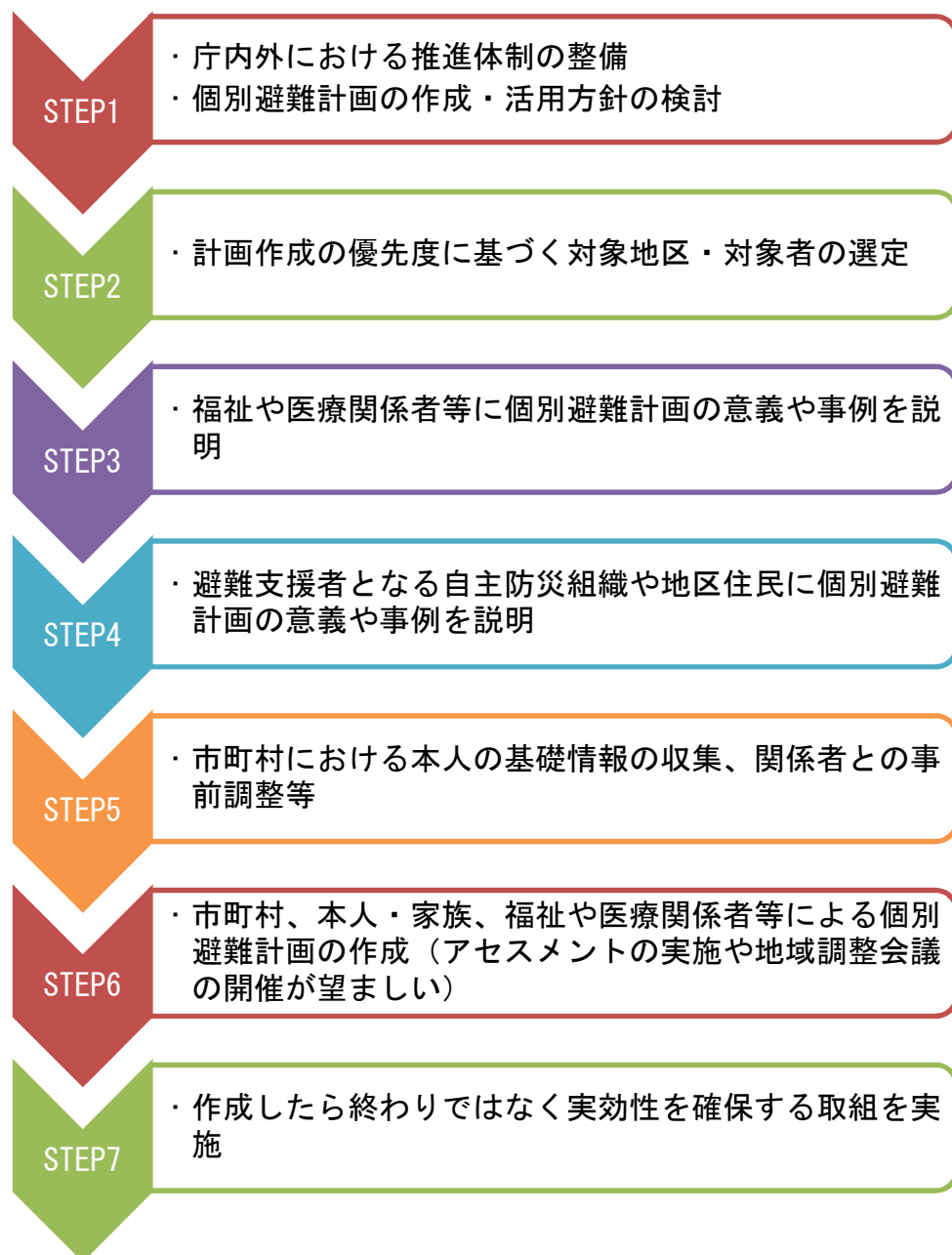


市町村が支援する個別避難計画の作成（作成の優先度が高いと判断する場合）

市町村・部課室名：新見市・福祉課



【全体概要】

【STEP1】

庁内体制 総務課 危機管理室、介護保険課、健康づくり課
(案) 福祉課

庁外体制 新見市自主防災組織連絡協議会
(案) 新見市防災士会

一般社団法人岡山県介護支援専門員協会新見支部
新見市障害者自立支援協議会
新見市民生委員児童委員協議会
岡山県備北保健所新見支所
新見市

【STEP2】

- ①避難行動要支援者名簿掲載者の住所情報を基にハザードマップと照合し把握する。(地図情報システムを活用)
- ②関係システム(介護、障がい者等)から情報を取得する。
- ③関係課の補完情報を取得する。(民生委員等からの情報も含む)
- ④①～③の情報を基に対象者を選定する。

【STEP3～6】

実際の個別避難計画の作成手法については検討中である。

【STEP7】

毎年更新ができるよう仕組みを構築したい。
年度当初(梅雨時期まで)には関係機関に情報提供したい。

[取組状況]

①市町村における計画作成の推進体制及び庁内連携

- ・関係課の担当者レベルで協議を進めている。

②地域における計画作成の体制～既存組織や会議等の活用～

- ・既存の組織がないため、今後体制整備を進める予定である。

③地域住民に対するアプローチと支援者の掘り起こし

- ・自主防災組織、地域運営組織、地区社協などと情報交換を行い、地域で対応ができる体制づくりを進める予定である。

④真に支援が必要な者の抽出～アセスメントの枠組みと方法～

- ・新見市地域防災計画に規定された避難行動要支援者を介護認定情報、障がい者情報等から抽出するとともに、関係各課の情報や各地区の民生委員や自主防災組織等から情報を集めて支援が必要な対象者を抽出する予定である。

⑤上記①～④以外で、貴自治体における進め方や取組状況を併せて自由に記載してください。